

神奈川県

神奈川県史

資料編

12

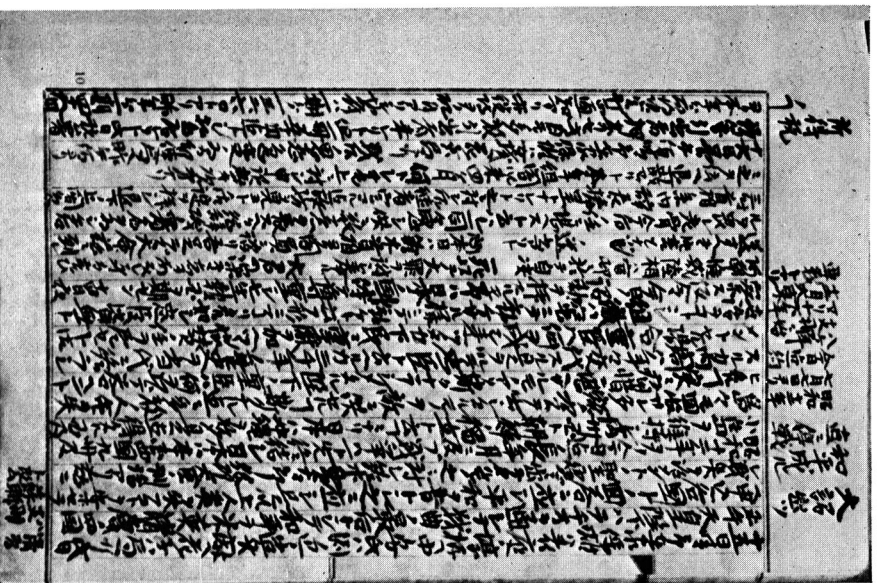
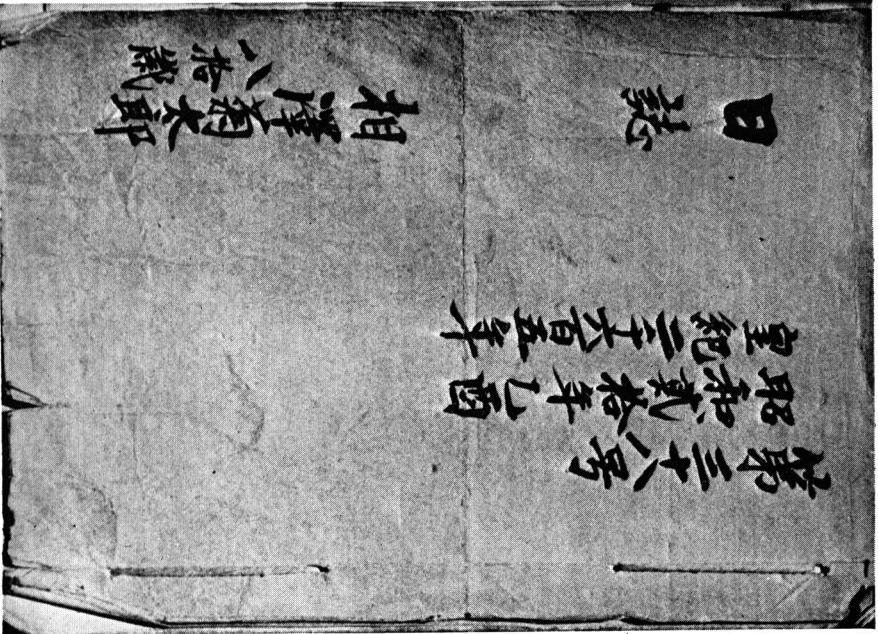
近代・現代

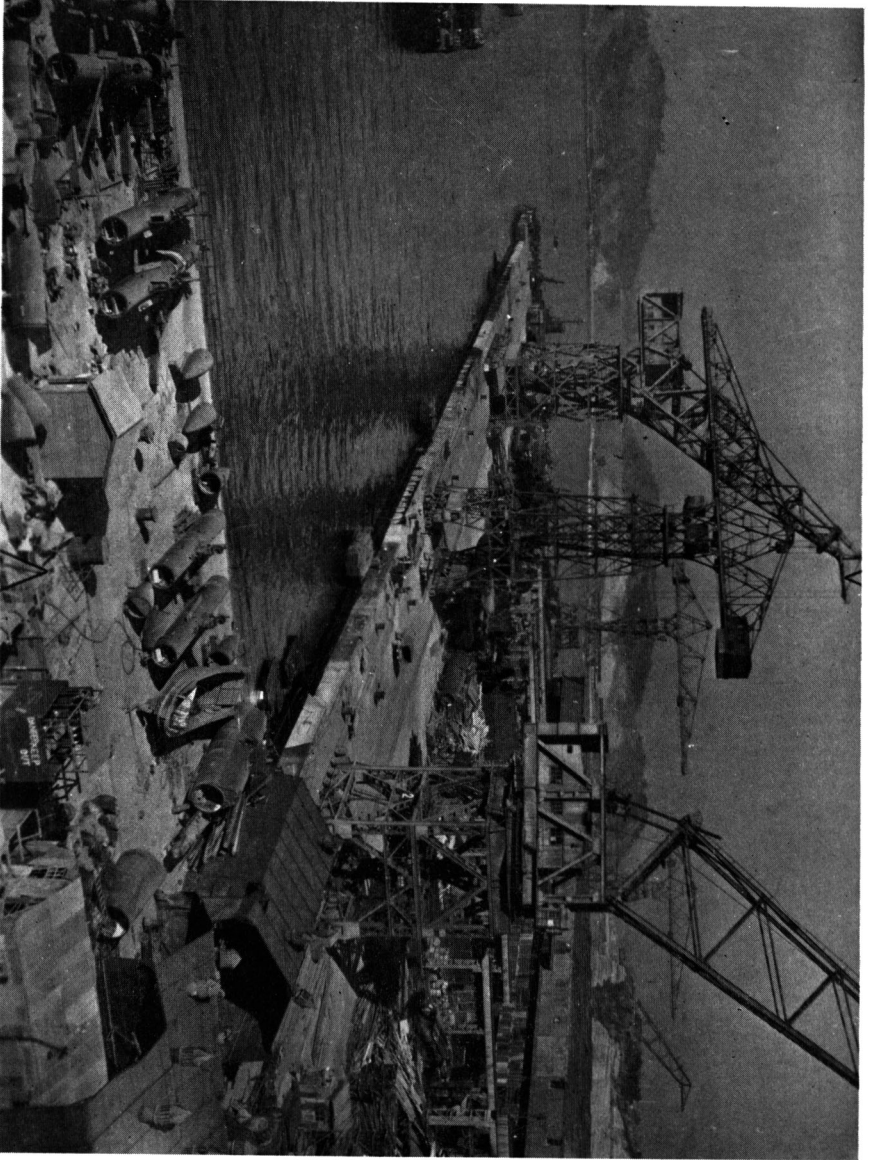
(2)

政治・行政
2

相澤菊太郎日記 相模原市元樺本 相澤栄久氏蔵

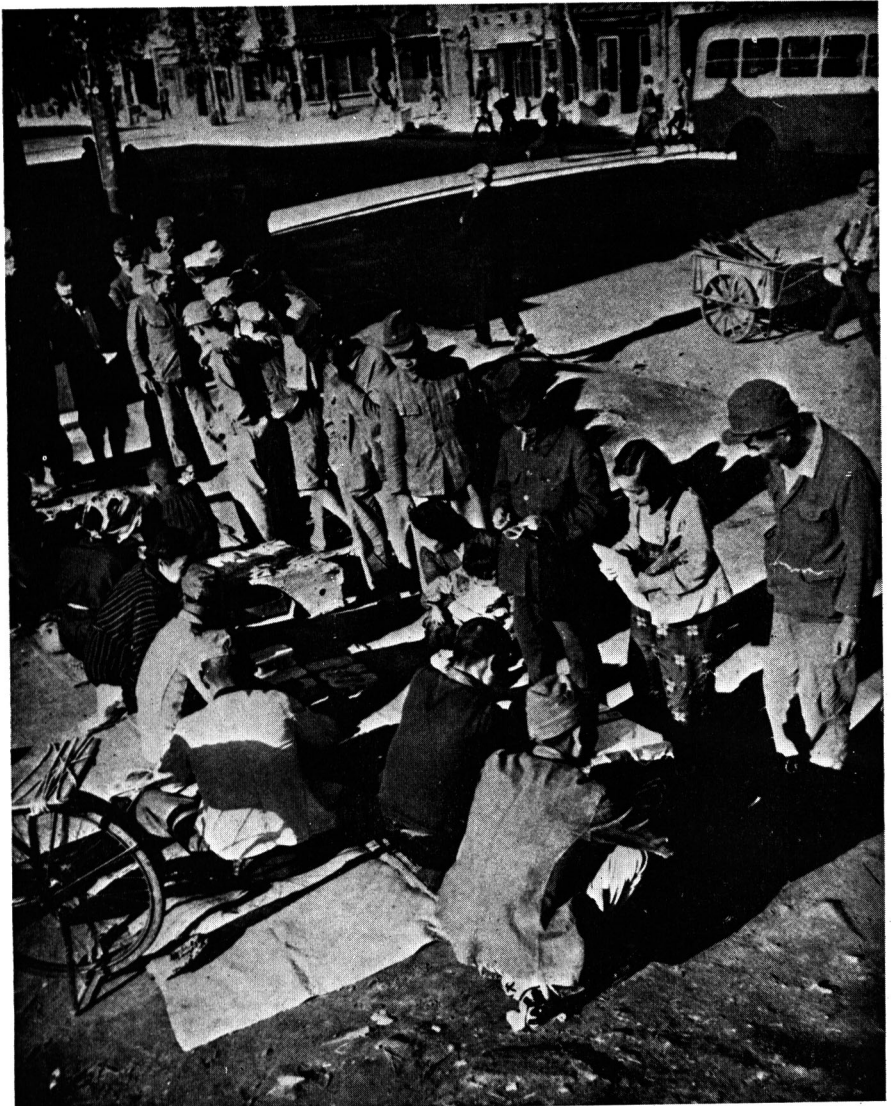
相澤氏は明治十八年から昭和三十七年までの七十八年間の日記を書きつづけた近代資料としてすぐれた歴史的価値をもつている写真は昭和二十年八月十五日の部分である(本文六三二ページ参照)





敗戦直後の横須賀軍港 横浜市神奈川区 斎藤秀夫氏蔵

敗戦直後に米軍に接収された横須賀軍港の一部である。手前
に特殊潜航艇が放置されたままになっている。この写真は米兵
によって撮影されたものである。



横須賀市のやみ市 横浜市神奈川区 斎藤秀夫氏蔵

敗戦により県民は生活物資の不足という大津波にのまれ このため各地にやみ市が横行した これは敗戦直後に横須賀市に出現したやみ市の様子である

左は 神奈川県政部より川崎市に宛てられた「市政月報」提出指令書であり、右は川崎市がそれに基づいて作製した報告書の一例である

川崎市役所蔵

川崎市役所蔵

川崎市市政月報

川崎市市政月報提出に関する指令書

KAWASAKI CITY OFFICE
 From July 26, 1949
 To August 29, 1949.

TO: Kanagawa Civil Affairs Team,
 (Legal and Government Section.)
 FROM: Mayor of Kawasaki City.
 THRU: Yokohama Liaison and Coordination Office.

SUBJECT: Monthly report of Municipal Administration.
 It is, herewith submitted the monthly report of Kawasaki Municipal Administration.

A. Municipal government administration.

(1) Education:
 A cultural lecture meeting for working women has been held during 9 days from July 26 to August 29.
 Lecturers: Miss T. Satou, Miss H. Murakami and 3 others, KOKI.

(2) Statistics:
 Pursuant to the instruction of the Occupation Forces and the Statistics Bureau the survey was made as follows during the period from August 16 to 22.

Age: 20. Percentage of female workers
 " 17. 18. Percentage of female workers
 " 17. 18. Percentage of female workers
 " 20. The remorter meeting.
 " 21. 22. Inspection of investigation slips.

On 15, 17 and 20 Dr. Sogabe and Miss Wright, G.H.Q. were present and on 22 Dr. Sogabe, Miss Jones, officials of the Statistics Bureau, Statistics Committee members and officials of the Labor Ministry were present.

(3) Welfare:
 Activities of the urgent relief team for disaster.

-1-

HEADQUARTERS
 KANAGAWA MILITARY GOVERNMENT TEAM
 APO 802
 26 Aug 1948

MEMORANDUM FOR: Mayor of Kawasaki
 Kawasaki Municipal Government
 FROM: Yokohama Liaison and Coordination Office
 SUBJECT: Monthly Reports

1. It is requested that legal and Government Section, this headquarters, be furnished with monthly activity reports as listed in enclosed tables, starting with May 1948. One copy of these reports will be furnished to the headquarters by the second day of the following month.

2. The reports will be clear, concise and brief, and should cover only current significant trends and facets of the political, administrative and governmental activities of the Kawasaki Municipal Government, including, but not restricted to:

3. Municipal government administration progress and instructions issued to employment national and prefectural directors or Government, as well as events of more than ordinary interest by the local level which required administrative action and action plans.

4. Activities of the Mayor, members, appointees of officials and committee members and other action of a political, administrative or governmental nature.

5. Activities of the Municipal Assembly, bills passed, appropriations and measures considered together with proposals and recommendations of Standing Committees.

6. These reports will be carefully edited, giving special attention to the elimination of inconsequential and irrelevant material. Summary reports will reflect the monthly progress made and difficulties encountered in carrying out of municipal efforts and measures taken to effect the report of the National and prefectural commissions and instructions. These will be known by everyone or covered by previous reports.

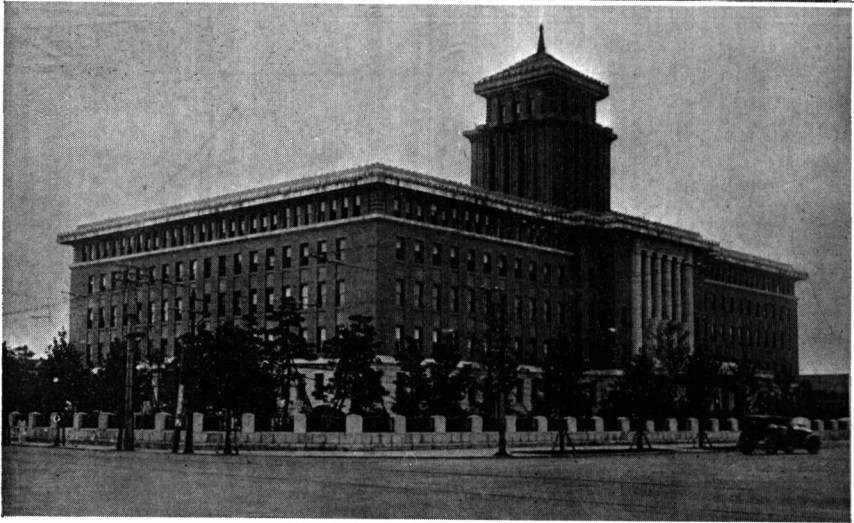
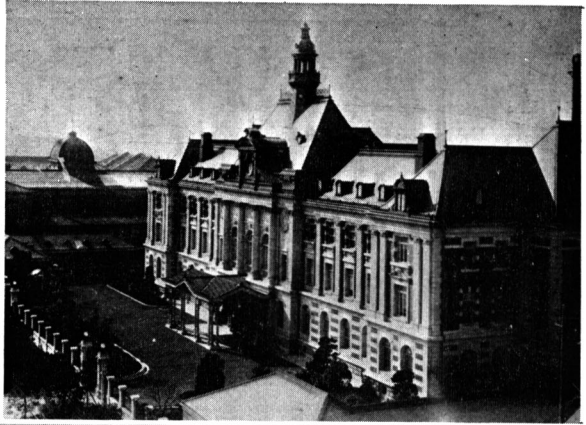
7. It is also requested that in addition to the report be submitted monthly by the Public Safety Commission as outlined in the attached instructions.

FOR THE COORDINATING OFFICERS:
 DONALD E. WILLEN
 Captain APO
 Additional Monthly Report Form

神奈川県新聞社が昭和三十年五月現在で調査した町村合併の状況
 (資料三三 本五五八一〜ト参照)



神奈川県町の町村合併の様子 神奈川県新聞社蔵



上 中 下 共に県庁舎

上 横浜市金沢区 小柴俊雄氏蔵
中 横浜市図書館蔵
下 神奈川県庁蔵

上の庁舎は震災で破壊され 中は昭和三年
にたてられ現存する 下は昭和四十一年に完
成した

序

この資料編12近代・現代(2)政治・行政2は政治・行政1(昭和四十九年発行)を引き継いで、昭和初期から昭和四十年代後半までの期間を対象としています。この時期は戦争、敗戦、占領、戦後民主化、独立、高度成長時代と、目まぐるしい激動の歲月でした。

日本の歴史のなかでも、これだけはげしく揺れ動いた時代は、他に比類をみないのではないのでしょうか。それだけに、この時代を生きてきた私たちの記録というものが、大きな意味をもつてくると考えます。

本巻では、この間の政治・行政の実態とその動きを基軸とする諸問題が、神奈川の地域と県民を通じて、どのようにあらわれているかを伝える資料に編集の重点を置きました。

この巻の刊行にあたり、貴重な資料の提供や紹介に御協力下さった諸機関や多くの方々および多数の資料の調査・収集と編集にあたられた執筆委員の皆様に対し、心から感謝申し上げます。

昭和五十二年三月

神奈川県知事 長洲 一一一

凡例

一 神奈川県史資料編、近代・現代編は政治・行政関係資料と産業・経済関係資料とを収録する。本巻は政治・行政編二巻の第二巻として昭和初期から昭和四十年代までの県政の推移に関する資料を収録した。なお、戦後は社会運動関係資料も収録した。

一 資料はテーマ別に分類し、それを原則として年代の順に従って収録したが、資料の前後関係によって配列し直す等の処置を講じた場合もある。

一 各資料の標題は、編者がつけた。しかし原資料の標題が内容に照応するものはそのまま採用した。

一 各資料にはすべて一連番号をつけ、さらに小番号を付して一括したものもある。

一 収録した資料は、いずれも原資料の形態を残すように努めたが、編集の都合上と資料を理解しやすくするため、原資料の意味を損じない限り、次のように扱った。

(一) 字体は、当用漢字表にある漢字については原則として当用漢字体表を用い、この表にない漢字は原資料に従った。

(二) 明らかな誤字は訂正したが、あて字、俗字等は原資料に従った。

(三) 戦後資料のおくりがなについては、原資料に従った。

(四) 各資料の欄外に書きこまれた所見の類は、編者において、「欄外注記」として表記した。

(五) 脱字は該当部分に「脱」の傍注を付した。

- (六) 虫くい、破損等は、□□□・□□□でその状態を示した。
- (七) 抹消部分は原則として省いたが、必要な場合は資料の末尾に編者注として表記した。
- (八) 敬字の欠字は一字あけとし、改行の場合は原資料に従った。
- (九) 署名簿等で人数が多い場合は、二段組みにしてすべてを収録した。
- (一〇) 編者のつけた注にはすべて「 」を用いた。
- (一一) 別記・別紙資料で原資料に記載のないものは編者が「別記」「別紙」として区分した。
- 一 収録した資料はその末尾に出版および所蔵者名を付記し、解説の末尾に所蔵者一覧表を掲げた。
- 一 本巻の編集は、大久保利謙・金原左門が担当した。

目次

序

凡例

第一編 昭和準戦時 戦時

第一章 国民更生 経済更生運動

第一節 県更生計画

資料番号	ページ		
一 神奈川県国民更生運動実施計画要綱	一	六	昭和九年度町村長会における県知事横山助成の訓示要旨
二 農山漁村経済更生計画樹立に関する件通牒	六	七	昭和十年度町村長会における県知事石田馨の訓示要旨
三 時局匡救 国民更生に関する県知事横山助成の訓示要旨	八	八	昭和十一年度町村長会における県知事半井清の訓示要旨
四 昭和八年度町村長会における県知事横山助成の訓示要旨	一〇	九	神奈川県農山漁村経済更生特別助成要旨
五 神奈川県農山漁村経済更生計画協議会指示事項	一三	一〇	神奈川県農山漁村経済更生計画再検討の方針
第二節 自力更生対策			
二 昭和七年度神奈川県副業奨励計画概要	二九	一四	養蚕実行組合設置奨励に関する件通知
三 失業対策事業に関する国庫補助の件通牒	三四	一五	足柄下郡町村長会の時局匡救に関する調査報告
三 神奈川県納税奨励規程	三九	一六	神奈川県農村匡救耕地拡張改良事業補助規則

一七	小田原土木出張所農村振興土木事業等に関する事務打		
	合会議案……………	四六	
一八	時局に対する国民の信念培養の指導要項 実施事項……………	三五	
一九	神奈川県精神作興週間に関する件要項……………	三五	
	第三節 経済更生実施事情……………		
二〇	足柄下郡吉浜村経済更生計画書……………	六六	
二一	中郡大磯町大磯漁業組合経済更生計画書……………	一〇二	
二二	中郡成瀬村経済更生計画 実行費調……………	一二三	
二〇	神奈川県下自力更生町村の事例(一)……………	四〇	
二一	神奈川県下自力更生町村の事例(二)……………	六二	
二二	昭和十年度精神作興週間にらびに運動に関する件要項……………	六四	
二三	建国祭行事徹底に関する件通知……………	六七	
二四	神奈川県下農山漁村経済更生計画実施概況(一—四)……………	一五	
二五	中郡成瀬村経済更生進行状況……………	一五六	

第二章 戦争体制の組織

第一節 国民精神総動員

二六	国民精神総動員第二回強調週間実施要綱および実情		
	(一—二)……………	一三	
二七	国民精神総動員第二回強調週間実践要綱……………	一五	
二八	神奈川県民の国民精神総動員運動に対する態度……………	一五	
二九	昭和十三年度市町村長会議における県知事半井清の		
	第二節 総動員……………		
三〇	日中戦争勃発一周年記念献納運動実施要綱……………	一八	
三一	一戸一品献納代金蒐集の件報告……………	一八七	
三二	神奈川県下農山漁村経済更生計画実施概況(一—四)……………	一五	
三三	藤沢町戦勝行事の件届……………	一三	
三四	自治振興運動実施要項ならびに運動指定町村の状況		
	(一—二)……………	一四	
三五	昭和十三年八月経済戦強調週間実施要綱……………	一九	
三六	昭和十三年十二月経済戦強調週間実施要綱……………	一九	

三	戦時下配給統制に関する件通牒……………	一四	三	中郡秦野町第九回経済警察協議会開催の件通知……………	一九
四〇	重要物資の廃品回収に関する件通牒……………	一九	四	中郡秦野経済報国会会則草案……………	一九
四一	中郡農会の農業労働力補給調整に関する会議事項……………	一九			
	第三節 大政翼賛の進行過程……………				
四二	大政翼賛会神奈川県郡市町村支部結成式に関する件通牒……………	二〇	五	翼賛壮年団員の立候補等取扱方針決定に関する件通牒……………	二三
四三	大政翼賛会支部規定……………	二〇	六	昭和十七年四月八日大詔奉戴日実施方針……………	二四
四四	大政翼賛会神奈川県支部第一回協力会議における支部……………	二〇	七	天長節国民奉祝実施要綱……………	二六
四五	長松村光磨の挨拶……………	二〇	八	大政翼賛会構成員と選挙に関する件通牒……………	二七
四六	大政翼賛会神奈川県支部第一回協力会議における運動……………	二〇	九	大政翼賛会神奈川県支部役員協力会議議員更新方針……………	二九
四七	経過報告……………	二〇	一〇	昭和十七年度神奈川県村長会の宣言決議……………	二九
四八	大政翼賛会神奈川県支部第一回協力会議の指示事項……………	二〇	一一	昭和十六年度大政翼賛会神奈川県支部事業報告……………	二九
四九	興亜奉行日新方策実施要綱……………	二一	一二	大政翼賛会神奈川県支部常会徹底事項説明資料……………	二九
五〇	神奈川県農山漁村経済更生整備計画樹立要綱……………	二二	一三	大日本体育会神奈川県支部設置に関する注意事項……………	三〇
五一	輸送力強化協力に関する件要請……………	二二	一四	農家増加収益の貯蓄化運動実施要綱……………	三一
五二	神奈川県郷土芸術振興資料調査に関する件依頼……………	二二	一五	戦時下衣生活簡素化実施に関する件通牒……………	三一
五三	木灰供出強化運動に関する実施要綱……………	二三	一六	第二期町村決戦体制確立実行方策要綱……………	三二
五四	戦時下仙石原村年末年始対策要綱……………	三四	一七	非常回収物件の回収対象および範囲に関する件通知……………	三二
五五	足柄上郡仙石原村常会要綱(一―四)……………	三五	一八	神奈川県一億敢闘総決起大会開催要項……………	三二
五六	大政翼賛会推進の報道網確立に関する件通牒……………	三五	一九	翼賛壮年団の活動に関する件通牒……………	三五

三	大政翼賛会神奈川県支部決戦生活実践促進要綱……………	二六〇
三	足柄上郡仙石原村常会徹底事項……………	二七〇
四	町内会部落会等の機構整備 指導に関する件通牒……………	二七二
五	常会指導員選定に関する件通牒……………	二七三
六	アメリカなど交戦国の文書図画等届出制周知徹底の件……………	
七	空襲時における情報放送の周知に関する件通知……………	二七三
八	撃墜敵機 搭乗員に対する地方官民の措置に関する件通知……………	二七四
九	伊勢原警察署管内の盗難事故防止要請……………	二七五

第二編 昭和戦後(一)

第一章 政治改革

第一節 敗戦と県民 地域

一	横須賀終戦連絡委員会業務報告(一一一)……………	二七七
二	アメリカ合衆国進駐軍軍人宿舍勤務誓約書……………	二八三
三	敗戦後の旧日本国軍隊の国家再建参加……………	二八三
四	時局転換下の軍事援護に関する件通達……………	二八三
五	神奈川県下全市民代表の食糧供出懇請電報文案……………	二八四
六	横須賀市の食糧危機に関する陳情書(一一二)……………	二八五
七	敗戦後の町村常会等指導方針要旨……………	二八六
八	神奈川県足柄下郡常会(一一六)……………	二八八
九	横須賀市戦災学徒数調査ノ件通達……………	二九七
一〇	横須賀市汐入国民学校欠食および虚弱学童数調……………	二九八
一一	連合国の指令 占領目的に対する有害行為処罰の件通知……………	二九九
一二	ポツダム宣言遵守に関する経済界取締強化の件通達……………	二九九
一三	神奈川県出身満州開拓移民等救済の件通達……………	三〇〇
一四	神奈川県遺族会結成の趣旨……………	三〇一
一五	平塚市の危機打開と「甲地」への引上げに関する陳情書……………	三〇一
一六	敗戦後横須賀市の財政事情……………	三〇三
一七	伊勢原警察署管内の盗難事故防止要請……………	三〇五

第二節 占領と県政

六	終戦連絡横浜事務局等設置の経緯と業務組織	三六
七	極東委員に対する神奈川県管内事情説明	三一
八	第八軍を中心とする軍政機構	三六
九	連合国軍隊横須賀進駐にともなう注意の件布告(一一二)	三七
一〇	神奈川県下の治安状況等に関する証言	三八
一一	連合国軍隊進駐地域の住民の心得事項	三二
一二	連合軍憲兵と日本国警察との事務打合せ報告	三三
一三	物品買受等取締に関する件通牒	三四
一四	神奈川県下連合軍兵士関係の事故防止対策	三五
一五	連合国軍隊兵士による危害等防止心得事項	三七
一六	進駐軍兵士の不法 不当行為等防止の件指示	三九
一七	連合国軍隊に対する食糧品供給に関する件通達	三一
一八	市町村長懇談会における県知事藤原孝夫の訓示要綱	三三
一九	昭和二十二年県知事内山岩太郎の年頭の辞	三八
二〇	旧日本軍隊の軍需品の無断持出等注意の件通達	三四〇
二一	旧戦力増強関連企業業の転用および金属回収に関する善後措置の件通牒	三四一
二二	戦時補償打切の件通達	三四三
二三	昭和二十一年度開拓増産隊要綱概要	三四五
二四	神奈川県下の食糧情報 第四報	三四六
二五	神奈川県市町村長懇談会の食糧対策決議	三五三
二六	食糧危機突破対策の件通達	三五四
二七	昭和二十二年度米穀 甘藷の買入対策要綱	三五四
二八	神奈川県食糧緊急対策	三五八
二九	神奈川県食糧調整委員会協議会決議文	三六三
三〇	経済危機緊急対策実施にともなう経済道義昂揚に関する件	三六三
三一	経済緊急対策抄	三六五
三二	物価引下運動実施に関する件通達	三六六
三三	統制物資不正売買取締徹底の件通達	三六七
三四	物価安定署名運動展開に関する要請の件	三六八
三五	物価監視委員任期延長の件通達	三六九
三六	連合国総司令部の横浜市等地方財政状況視察	三七〇
三七	座間 相模原町地域の進駐軍の不法事件処理経過(一一二)	三七〇
三八	講和後横浜市の接収地処理に関する要望書	三七三